

仲間に知らせ広げよう 自主共済の良さ 際立つ

民間損保は値上げラッシュ 組合共済の優位性高まる

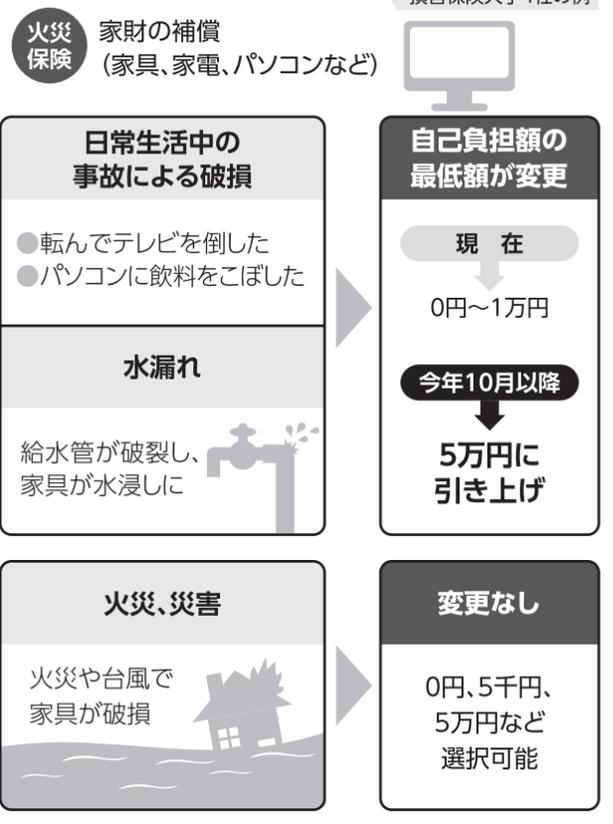
「加入していた火災保険が驚くほど高くなるので土建に切り替えます」という声は昨秋ごろから共済会に寄せられるようになりまし。損害保険各社は、東日本大震災以後の台風や豪雨被害による保険金支払額の高額化により経営が悪化、この間数回にわたる保険料の改定を行ってきました。2018年度は自然災害に伴う支払額は、過去最大の約1.5兆円(地震被害除く)、2019年度も1兆円を上回ったと言われています。今年10月も火災保険の制度改定が予定されています。改定のポイントとどけん火災共済の優位性を見ていきます。

1. 火災保険料の値上げ↓値上げ幅は全国平均で10.9%の予定
火災保険料は2019年10月、2021年1月と値上げされ、今回の値上げ幅は近年一番大きな値上げ幅になるといわれています。地震保険も2017年、2019年、2021年と値上げされてきました。
2023年度以降、地域別の保険料を導入することも計画されています。浸水や土砂崩れなどの地域別のリスクの大小を保険料に反映させる計画です。
2. 10年契約の廃止、最長契約が5年に
割安といわれた10年の契約期間は廃止され、最長の保険期間が5年になります。契約期間を長くすることで、割引率を高く設定した安い掛金の保険料商品が販売されてきました。しかし、近年の地球温暖化により自然災害の将来予測に不確実な要素が増えて、10年先のリスク予測が難しくなっています。プランによっては、値上げよりもこちらの方が家計に対する影響が大きい場合もあるといわれています。もう一つは、今のまま長期契約を継続した場合、保険料を値上げしたとしても収支の改善に時間がかかるというところも大きな理由です。
3. 災害以外の家財補償、自己負担額を大幅引き上げ10月から5万円に
損害保険大手4社は火災保険の家財補償について、今年10月から契約者の自己負担額を大幅引き上げ10万円から5万円に引き上げられることになり、契約者の負担が増えることとなります。
4. 組合の自主共済制度の優位性を広げる対話活動を
組合では、年間を通じた組織強化活動にどけん火災共済の加入促進を中心とした、組合の共済制度を紹介する活動を行っています。

対象拡げてリニューアル 資格講習共済の活用を

【どけん共済会発】従来の資格取得祝金制度を改定し、名称も新たに「資格講習共済」とリニューアルし、4月よりスタートしました。
従来の「資格取得祝金制度」の対象を拡げ、今まで給付対象としていなかった資格を対象に加えました。
また、資格講習も技術センター以外の講習や35歳以上の組合員の講習受講も給付対象としました。
この整合性を持たせ、今まで給付対象としていなかった資格を給付対象に加え、また、CCUS(建設キャリアアップシステム)能力評価認定基準資格も加えました。
①全建総連資格取得報奨金・資格取得祝金制度(旧制度) 0円とします。
②給付区分を細分化。3000円、5000円、10000円とします。
③若年者支援34歳以下組合員の資格取得支援として1000円上乗せします。
④技術センター支援として、当センターでの特別教育や資格取得へ1000円上乗せします。
⑤一般建築物石綿含有建材調査者を祝金対象に加えさせていただきます。
⑥今まで対象外としていた技術センター以外の講習や、35歳以上の組合員の講習受講も対象とし給付範囲を広げました。

家財補償の自己負担額引き上げイメージ



23年間値上げなし 大切な助け合いの制度

①1999年9月以来、変わらない安い掛金
組合の共済活動は、仲間どうしのつながりを強める組合運動そのものです。産業と地域に影響を及ぼす強大な組合づくりにはなくてはならない大切な活動です。掛け金の半分を上回る給付予算や制度運営に必要な経費と組合共済制度改善につながるような財政運営を行なっています。損害保険会社のように営利目的ではないので、1999年9月の制度発足以来一度も掛け金の値上げを行わず運営してきました。最大保障額10万円当たりの掛金が、木造で火災共済60円/口、地震共済330円です。
②運営の透明性と加入者の要望に答えるために1年ごとに外部からの干渉を受けず主体的な運営を行なっています。
③給付を受ける際の自己負担はありません
どけん火災共済では給付金の自己負担額は設けていません。組織の確立強化と組合員の生活再建の支援を目的としている自主共済制度の優位性です。※第三者からの直接加害行為による被害は、1万円以上を給付対象としています。
④その他の優位性
①66%の被災で全焼保障
どけん火災共済は66%以上の被災で全焼給付としていきます。特約などによる違いがある場合もありますが、他の共済や保険では70~80%以上の被災を対象にしている制度がほとんどです。
②幅広い保障
火災などによる損害に加え、①破裂、爆発による損害②落雷による損害③車両の突入による損害④自然災害による損害などを給付の対象としています。
③他の制度の劣らぬ自然災害の上限額
どけん火災共済は、自然災害での全壊被害は450万円。大規模半壊は250万円を上限としています。
④地震共済に仮払い制度があります
自治体の罹災証明の発行に時間がかかる場合、応急危険度判定(赤色・危険、黄色・要注意)により、一部損壊基準の金額で仮払いを行ないます。
⑤加入時に満額加入しなくても給付時の減額はありませ
どけん火災共済は、加入時に満額ははらなくても契約した補償額まで給付されます。
●仲間の助け合い制度をさらに発展させよう
どけん火災共済は、火災被害以外の自然災害、漏水、第三者加害行為など、幅広い被害に対応するものです。多発する大雨・暴風雨被害にあつた組合員の生活再建には、なくてはならない共済制度です。仲間同士の助け合い制度をさらに充実・発展させるため、多くの組合員のご協力と制度利用をお願いします。

お仕事ぐるま.com

中古車レンタカーあつ旋販売

商用車に特化したレンタカーあつ旋販売をはじめます。仕事で使えるキャリア付きの商用レンタカーを組合員特別価格(最大80%off)で提供します。詳細は、支部に配布済みのチラシをご覧ください。

1 組合員価格 5%引き (1週間以上利用)	2 現地まで 納車・引取 (1カ月以上利用)
3 早借遅返 早く借りられて、遅く返せる	4 はじめてのご利用で 初日貸し出し無料



対象資格・講習と給付額を一覧から検索できます